

科目名	救急救護医学演習 I			分野・必選別・ 単位数	専門科目	選択	2単位
担当教員	◎教授 小菅宇之 准教授 藤崎竜一						
課程	修士	配当年次	2年	配当学期	前期	授業方法	演習
授業の概要	病院前救急救護現場での内因性・外因性傷病者の観察・鑑別判断・救急救命処置について事例検討・討論を通して、症状・徴候・病態・救急救命処置に関する救護ケア関連図及び適切な教育実習用シナリオの作成要領とその説明ができる能力を学修する。病院前救急救護現場で遭遇する症例を題材にピットホールとその対応策、模擬MC体制上の対応策を検討して、病院前救急救護医学の実践的学修プログラムを作成、病院前救急救護の教育指導者としての能力を涵養する。						
授業の到達目標	①例題となる内因性・外因性疾患について、救護ケア関連図の作成要領を学修し、その説明ができる。 ②例題となる内因性・外因性疾患について、適切な教育実習用シナリオの作成要領を学修し、その説明ができる。 ③例題となる内因性・外因性疾患について、適切なピットホールの対応策の説明ができる。 ④例題となる内因性・外因性疾患について、模擬MC体制上の対応策の説明ができる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	小菅 宇之	教授	適切な症例報告の検索、ディスカッションに必要な資料の準備、プレゼンテーションの準備ができる。救護ケア関連図とシナリオ作成のための方法を説明できる。			
	2	小菅 宇之	教授	外因性① 頭部外傷 外因性について適切な症例報告を用いて、救護ケア関連図と教育実習のためのシナリオ作成要領と説明ができる。ピットホールと模擬MC体制上の対応策が実践でき説明ができる。			
	3	小菅 宇之	教授	外因性② 胸部外傷 外因性について適切な症例報告を用いて、救護ケア関連図と教育実習のためのシナリオ作成要領と説明ができる。ピットホールと模擬MC体制上の対応策が実践でき説明ができる。			
	4	小菅 宇之	教授	外因性③ 腹部外傷 外因性について適切な症例報告を用いて、救護ケア関連図と教育実習のためのシナリオ作成要領と説明ができる。ピットホールと模擬MC体制上の対応策が実践でき説明ができる。			
	5	小菅 宇之	教授	外因性④ 脊柱・骨盤・四肢外傷 外因性について適切な症例報告を用いて、救護ケア関連図と教育実習のためのシナリオ作成要領と説明ができる。ピットホールと模擬MC体制上の対応策が実践でき説明ができる。			
	6	小菅 宇之	教授	外因性⑤ 熱傷 外因性について適切な症例報告を用いて、救護ケア関連図と教育実習のためのシナリオ作成要領と説明ができる。ピットホールと模擬MC体制上の対応策が実践でき説明ができる。			
	7	小菅 宇之	教授	外因性⑥ 中毒 外因性について適切な症例報告を用いて、救護ケア関連図と教育実習のためのシナリオ作成要領と説明ができる。ピットホールと模擬MC体制上の対応策が実践でき説明ができる。			
	8	小菅 宇之	教授	内因性① 循環器疾患 内因性について適切な症例報告を用いて、救護ケア関連図と教育実習のためのシナリオ作成要領と説明ができる。ピットホールと模擬MC体制上の対応策が実践でき説明ができる。			
	9	小菅 宇之	教授	内因性② 脳神経疾患 内因性について適切な症例報告を用いて、救護ケア関連図と教育実習のためのシナリオ作成要領と説明ができる。ピットホールと模擬MC体制上の対応策が実践でき説明ができる。			
	10	小菅 宇之	教授	内因性③ 消化器疾患 内因性について適切な症例報告を用いて、救護ケア関連図と教育実習のためのシナリオ作成要領と説明ができる。ピットホールと模擬MC体制上の対応策が実践でき説明ができる。			
	11	小菅 宇之	教授	内因性④ 呼吸器疾患 内因性について適切な症例報告を用いて、救護ケア関連図と教育実習のためのシナリオ作成要領と説明ができる。ピットホールと模擬MC体制上の対応策が実践でき説明ができる。			
	12	藤崎 竜一	准教授	内因性⑤ 感染症 内因性について適切な症例報告を用いて、救護ケア関連図と教育実習のためのシナリオ作成要領と説明ができる。ピットホールと模擬MC体制上の対応策が実践でき説明ができる。			
	13	藤崎 竜一	准教授	内因性⑥ 内分泌疾患 内因性について適切な症例報告を用いて、救護ケア関連図と教育実習のためのシナリオ作成要領と説明ができる。ピットホールと模擬MC体制上の対応策が実践でき説明ができる。			
	14	小菅 宇之	教授	内因性⑦ 環境障害 内因性について適切な症例報告を用いて、救護ケア関連図と教育実習のためのシナリオ作成要領と説明ができる。ピットホールと模擬MC体制上の対応策が実践でき説明ができる。			
15	小菅 宇之	教授	災害外傷 災害外傷について適切な症例報告を用いて、救護ケア関連図と教育実習のためのシナリオ作成要領と説明ができる。ピットホールと模擬MC体制上の対応策が実践でき説明ができる。				
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	毎回の症例報告(自ら検索、もしくは指定)を基に、救護ケア関連図・シナリオを作成する。シナリオ解説のために必要な資料の準備を行う。					
	【事後学修】	救護ケア関連図についてディスカッションした内容をまとめる。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	救急救命士標準テキスト 改訂第9版上下巻 へるす出版 標準多数傷病者対応MCLSテキスト ぱーそん書房 JPTECガイドブック へるす出版 救急用語辞典 ぱーそん書房						
参考書	JATECプロバイダーマニュアル へるす出版 TRAUMA McGraw-Hill Professional						
成績評価の方法および基準	各講義毎に、プレゼンテーションと救護ケア関連図とシナリオにより理解度を確認し、これらの提出を評価の80%とする。さらに成績評価とし疾患に対する口頭試問を行い評価の20%とする。						
その他履修上の注意事項	プレゼンテーション、ディスカッションを中心とするので、授業中の積極的な発言が必要である。事前にJPTECの受講、病院前救急救護医学特論 I, IIを履修済みであることが望ましい。 試験やレポート等に対し、講義の中で解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP4が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						